

新岳の火山ガスは 2003 年以降と同様に、 SO_2/H_2S 比および見かけの平衡温度が高い。
 CO_2/S 比は低下。古岳噴気組成は変化無し。
 2009 年以前の火山ガス組成は主に平林他 (2007) による。
 SO_2 放出量は 2008 年末の半分程度に低下。

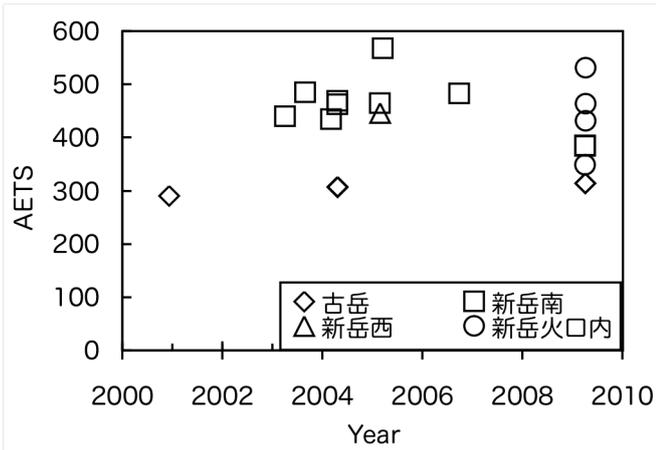


図 1 見かけの平衡温度 (AETS: $SO_2+3H_2=H_2S+2H_2O$)

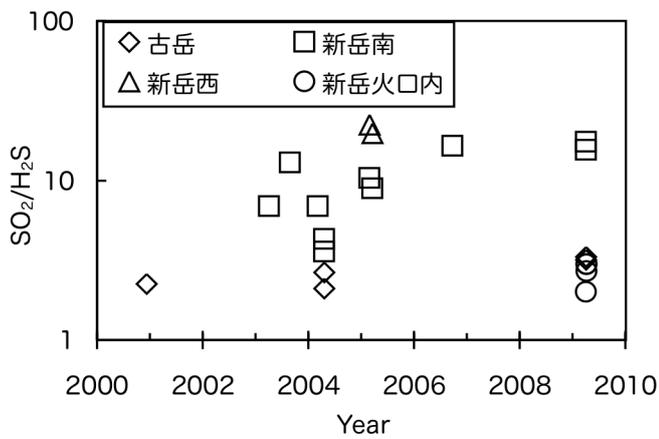


図 2 火山ガス中 SO_2/H_2S 比

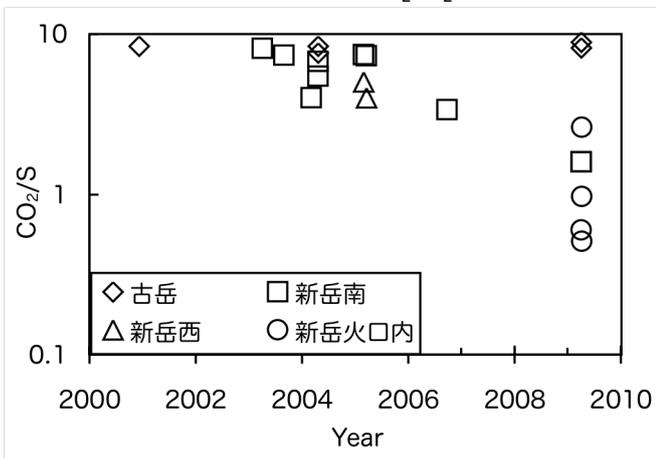


図 3 火山ガス中 CO_2/S 比

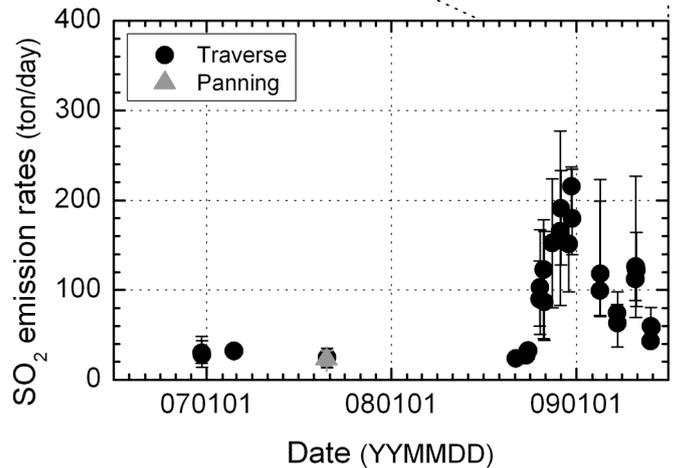
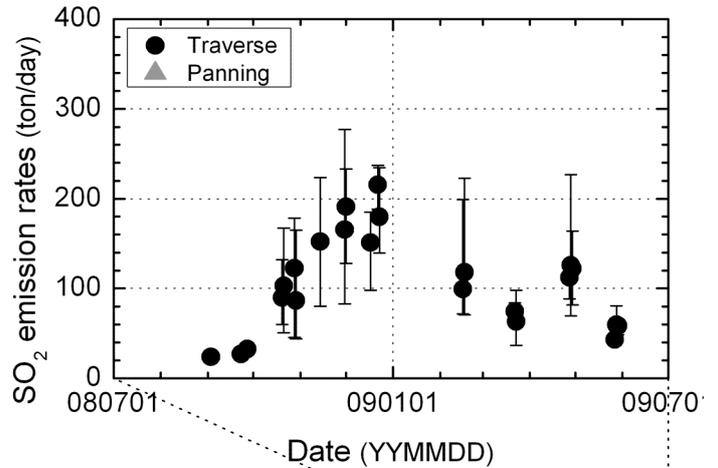


図 4 SO_2 放出量